**自己PR**

* 起業の経験
  + 会社を経営するという経験
  + 学生という立場から企業にアプローチをかけた
  + 逆算　→　行動力・新しいものを考える力・計画性・マネジメント力・素早さ・決断力・せっかち・
* 独自のプログラム教室の開催とそのコンテンツ開発
  + チームワーク・開発力・技術力・時間配分がうまい・教える能力・計画性がある・信念
* 国予算で行うアプリ開発のマネジメント
  + 緻密・交友関係・行動力・顔が広い・説得力・スカウト力
* 考古学の開発(複数人)
  + マネジメント力・開発力・交友関係

**①私には行動力があります**

**エピソード**

　・学生の開発力を生かして、石川県にITを導入しようと思いITコンサルティング事業を興しました。

　・また、Webサイト制作・アプリ開発を軸に事業を展開していくことを考えると初期投資が少なく済む。

　・学生ベンチャーという立場からのアプローチは、学生時代でしかできないチャンスだと思ったから。

**強みをどういかすか**

　・御社では経営戦略を意識し、市場のニーズにマッチした開発を行います。

**②私にはマネジメント力があります**

**エピソード**

・大学の予算でアプリ開発を行っています。会社を経営していたころに一度お話をさせて頂いた大学の教授に

　・

**強みをどう生かすか**

**・**

**志望動機**

* 企業理念と御社の取り組みにどれだけコミットできるのか
  + 「見る」「貯める」「扱う」データを、「魅せる」「楽しむ」「活かせる」情報に。映像・ストレージ・ネットワーク技術を駆使し、進化するビジネスと暮らしを応援する。
  + 外枠のない丸みを帯びた字体には、お客様をはじめとしたステークホルダーとの間に垣根の無い身近な存在でありたい、既存の枠組みに囚われることなく柔軟に進化し続ける企業でありたいとの思いを込めております。IとOの間のシンボルは「心」をモチーフに、お客様の声に耳を傾け（I：インプット）、お客様の期待に誠心誠意お応えする（O：アウトプット）ため、技術とアイデアを磨き続ける当社の創業精神を表現しております。
  + 当社は「お客様」、「株主」、「取引先」、「地域社会」、「社員」に信頼される企業として国内はもとより国際社会においても「企業倫理」を遵守する模範企業となるべく活動、努力を続けて参ります。
* 未来の取り組みにも
* パーソナルコンピュータの利用方法は，単なるビジネスツールからエンターテイメントへと範囲は大きく広がっており，その中においてPC周辺機器の占める重要度は大きい．
* 開発力、営業力、サポート力がバランスのとれた会社だから。特にサポート力の大切さは、自分自身のアルバイトの経験から実感していた。アイ・オー・データの内定を受けようと思った一番の決め手は、最終面接での役員の方々の印象。私が受けた会社の中で、一番「私」を見てくれた楽しい面接だった。このようなトップの下で働きたいと思い、内定を受けた。「私らしく働ける」ということに重点を置いた結果、選んだのがアイ・オー・データだった。
* 商品を使っていただくお客様の目線で、商品を送り出す「顧客満足の精神」や、市場の需要に遠すぎず近すぎず「半歩先とる商品力」で、企業と顧客がともに成長していくという、会社の考え方が、自分の持っている「自分の創った製品でお客様を満足してもらいたい、満足させたい！」という考えの方向性とあっていると考えこの会社を志望しました。
* 私自信、パソコンやその周辺機器に興味あり、特にアイオーの製品を愛用していた。  
  今、アイオーはデジタル家電分野にも進出しているということで、この分野での知名度とシェアを自分の力で、高めていきたいと思ったから。
* 「付加価値＝世の中に存在する“コツ”を無力化すること」
* “時代から置き去りにされたニーズ”に対して、きちんと向き合って、価値として形にしていくこと
* その時点では“最新の技術”であったとしても、次の瞬間には“時代遅れ”になっている
* 比較的小さな製品提供する御社は、お客様の五感である視覚・触覚という他の製品では出来ないアプロ―チを行うことが出来るから。

**学生時代に打ち込んだこと**

* 尊敬している先輩に、「まぁお前にできんことは、俺はできるしなぁ」と言われて初めて挫折を味わったこと。
* アルバイトで考古学に関する開発を行っています。
  + 今まで手作業で行ってきた遺骨などのゲノム解析を機械化し、ヒューマンエラーや時間的な短縮を行うことができました。
  + 自分が所属している機械系の分野が、まったく異なる考古学と融合し新しい世界を創造するということができる。

**研究テーマ**

* 曲げられる柔軟なエアシリンダの開発を行っています。
* 研究を選んだ理由は、今までにない新しい分野についての研究を行いたかったからです。
* アイデアを形にし、問題を洗い出して改良するという作業を何回も繰り返しました。また、柔軟エアシリンダは材料変形・ピストンシリンダの摩擦・エアがおよぼす影響など様々な分野が関係してきます。そのことから、様々な分野からのアプローチを実践して問題を解決するこということを学びました。
* 先が見えづらい研究ではあるが、粘り強く打ち込んだ。
* 既存のエアシリンダは、ストロークを伸ばすためには装置自体を長手方向に大きくする必要があるため、スペースを大きくとる必要がある。
* 柔軟エアシリンダは曲げて収納できるため、ストロークに対してアクチュエータ自身の大きさを小さくすることができる。よって、エアシリンダを配置するエンジニアはアクチュエータの配置にそれほど時間を割くことなく設計をすることができる。